

火山災害に対する備え

- ◆ 県内には、吾妻山、安達太良山、磐梯山、燧ヶ岳、沼沢の5つの活火山があり、また、那須岳にも隣接しています。
- ◆ これらの山々は、限りない豊かさと安らぎを我々にもたらしていますが、過去には火山活動により被害も発生しています。
- ◆ 現在、火山活動は落ち着いた状態にありますが、万が一の場合に備え、日ごろから心構えをしておくことが大切です。

1 火山に関する知識を身につけておきましょう。

火山活動は、火砕流、土石流、泥流や噴石、降灰のほか、山崩れや火山性ガスなど、それぞれの火山の性質や特性に応じた様々な災害をもたらします。

自治体や防災関係機関が開催する講習会に参加したり、火山防災マップや広報誌などを通じて、過去の噴火の歴史や火山活動の特徴、予想される危険箇所など、火山に関する知識を普段から蓄え、いざというときの対応力を身につけておきましょう。

2 火山に関する情報に注意しましょう。

テレビ・ラジオからの情報には普段から耳を傾ける習慣をつけておきましょう。

また、根拠のないデマや噂などに惑わされないよう、公的機関などが発表する正確な情報を入手しましょう。

3 避難場所を確認しておきましょう。

避難場所の位置やそこまでの道順を確認しておきましょう。

4 非常持出品を準備しておきましょう。

避難するときのため、非常食などのほか、懐中電灯、携帯ラジオや救急医療品、衣類、現金などを準備しておきましょう。

5 家族でよく話し合っておきましょう。

それぞれの役割や避難先で落ち合う場所など、あらかじめ家族でよく話し合っておきましょう。

6 異常現象を発見したらすぐ連絡。

噴煙や地鳴りなどの異常現象を発見したときは、すぐに市町村や消防、警察に連絡をお願いします。

福島県災害対策課 〒960-8670 福島県杉妻町 2-16 電話：024-521-7194 FAX：024-521-7920 saigai@pref.fukushima.jp
--